

統幕長 まるで「軍人政治家」

7/3
5/3

「新基地」強力に推進 オスプレイの不安一蹴

仁比氏暴露の文書

2日の参院安保法制特別委員会、日本共産党の仁比豊平議員が暴走した一連の会談記録（一面報道）は、国民も憲法も無視して日米同盟強化に暴走する日米制軍部らしい本音を伝える異例の内部文書です。



オディエルノ 陸軍参謀総長



ダンフォード 海兵隊司令官

ガイドラインや安保法制は 予定通り進んでいるか？

来年夏までには終了するものと考えている。



河野 統合幕僚長

沖縄県知事選時には普天間移設 反対派の知事が就任したが、安倍政権は強力に推進するであろう。

安倍総理は移設を現行計画どおり 実施していくと理解している。

| 年月 | 出来事 |
|-------------|----------------------|
| 2014年10月14日 | 河野氏が統合幕僚長に就任 |
| 11月16日 | 沖縄知事選で翁長雄志氏が圧勝 |
| 12月14日 | 第47回衆院総選挙の投票日 |
| 12月17～18日 | 河野氏が訪米し、米軍幹部らと相次いで会談 |
| 12月24日 | 第3次安倍内閣が発足、首相が記者会見 |
| 2015年1月26日 | 第189回通常国会が開会 |
| 2月13日 | 安保法制整備の与党協議会が再開 |
| 4月27日 | 新たな日米ガイドラインを合意 |
| 4月28日 | 首相が米国会演説で戦争法案成立を約束 |
| 5月14日 | 安倍内閣が戦争法案を閣議決定 |
| 5月26日 | 戦争法案が衆院で審議開始 |

総選挙直後

記録によると、河野氏はオディエルノ陸軍参謀総長と昨年12月17日に会談し、戦争法案について「来年夏までには終了する」との見通しを伝えました。

12月18日のダンフォード海兵隊司令官との会談では、河野氏は沖縄県名護市辺野古への米軍新基地建設や、キャンプ・ハンセン（同県金武町など）、キャンプ・シュワブ（同県名護市など）での「基地の日米共同使用が実現すれば、沖縄の住民感情も好転するのではないか」と発言しています。

「一部だけ」

国民も沖縄県民も無視し、どこまでも米軍にすり寄る発言はこれにとまりません。

昨年11月の沖縄知事選では、辺野古新基地反対を掲げた翁長雄志氏が県民の圧倒的民意で勝利しました。にもかかわらず、河野氏は米兵の夜間外出禁止など、勤務時間外行動指針（リパティ・ポリシー）の順守による事件・事故防止という「選挙協力」に感謝を伝えています。米軍の「選挙協力」に感謝するなど、主権放棄そのものです。

派兵を意識

国会でこれまで説明されたこともない軍事政策の方向性を、米側に説明している場面も散見されます。米軍トップのデンプシー統合参謀本部議長との会談では、海城対処の拠点として国会で説明してきたアフリカ北東部・シバチの自衛隊基地について「今後の幅広い活動のため利用を拡大させたい」と用途を拡大させる方針を明言。戦争法案による海外派兵の拡大に備え、中東・アフリカにらむ作戦拠点として基地強化していく考えを早くも伝えています。

陸上自衛隊の部隊が常駐して共同基地化する構想が示されており、軍部・国土で秘密裏に構想の検討を進めていることを改めて裏付けるものです。

さらにワーク国防副長官との会談では、墜落事故が相次ぐ垂直離着陸機オスプレイについて「国民の不安は低減されたが」と問われ、河野氏は「以前に比べ低減された」「不安性を煽るのは一部の活動家だけである」と自説を披瀝し、国民の懸念や批判を切っ掛けとしています。

河野統合幕僚長の訪米会談記録概要（抜粋）

防衛省統合幕僚監部の河野克俊統合幕僚長が昨年12月に行った訪米での会談記録概要（抜粋）は次の通り。（場所はいずれも米国防総省）

- 17日、オディエルノ陸軍参謀総長 河野 集団の自衛権の行使が可能になった場合は米軍と自衛隊との協力関係はより深化するものと考えている。
- 18日、ワーク国防副長官 河野 今回F35（ステルス戦闘機）のリージョナルデポ（地域の整備工場）が日本に決まり…オスプレイのリージョナルデポについても日本に置いて頂けると更なる運用性の向上となる。
- 18日、ダンフォード海兵隊司令官 河野 沖縄県知事選時にはリパティ・ポリシー（在日米軍勤務時間外行動指針）の実施、地域情勢に配慮して頂き感謝する。結果として普天間移設反対派の知事が就任したが、辺野古への移設問題は政治レベルの議論であるので方針の変更はないとの認識である。安倍政権は強力に推進するであろう。
- 18日、デンプシー統合参謀本部議長 河野 AFRICOM（オスプレイのリージョナルデポ）に連絡官を常駐させたいと考えている。またシバチは海城対処の拠点ではあるが、今後の幅広い活動のためシバチの利用を拡大させたい。

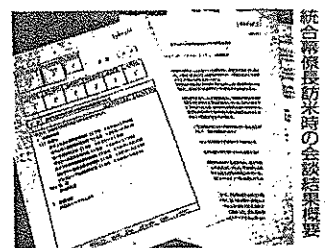
河野 与党の勝利により来年夏までには終了するものと考えている。

河野 AFRICOM（オスプレイのリージョナルデポ）に連絡官を常駐させたいと考えている。またシバチは海城対処の拠点ではあるが、今後の幅広い活動のためシバチの利用を拡大させたい。

河野 沖縄県知事選時にはリパティ・ポリシー（在日米軍勤務時間外行動指針）の実施、地域情勢に配慮して頂き感謝する。結果として普天間移設反対派の知事が就任したが、辺野古への移設問題は政治レベルの議論であるので方針の変更はないとの認識である。安倍政権は強力に推進するであろう。

ダンフォード 安倍総理は移設を現行計画どおり実施し、沖縄の基地負担を減じる努力をしていくと理解している。

河野 辺野古への移転やキャンプ・ハンセン、キャンプ・シュワブでの共同使用が実現すれば、米海兵隊と陸上自衛隊との協力が一層深化すると認識している。これにより沖縄の住民感情も好転するのではないか。



統合幕僚長訪米時の会談記録概要